

事務事業名		伊那谷作家調査研究事業		会計		一般会計		実施区分				
H28担当課等名		美術博物館		H28係等名		学芸係		H27係等名		学芸係		
基本計画上の位置づけ		政策 6		地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり		事業種別		政策		開始 1 終了		
H28担当課等名		美術博物館		H28係等名		学芸係		H27係等名		学芸係		
基本計画上の位置づけ		政策 6		地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり		事業種別		政策		開始 1 終了		
基本計画上の位置づけ		施策 61		地域資源の発見・資産化		事業種別		政策		開始 1 終了		
目的	対象(誰・何を)	1 飯田市美術博物館所蔵の美術作品		対象指標	指標名及び単位		27年度数値					
	意図(どういう状態にするか)	1 調査・研究し、活用できる状態			所蔵作品数(点)		1869					
	向上させたい上位施策の成果指標	見出された地域資源の数(累計)										
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)				
	成果指標	調査研究し、活用を可能にした所蔵作品の総数(点)		1400	1424	1434	-					
	定性目標											
事業概要	<p>伊那谷にゆかりのある美術作家について、調査・研究し作品や資料を収集して情報を集積する。これによって埋もれている地域資源を発見し、平常展示や特別展にその成果を活用し、また多くの市民が学習のために利用できるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 伊那谷作家に関する作品・資料を収集し、調査・研究、保管する。 2 上記に関わる写真などの二次資料・文献資料等を収集する。 3 所蔵作品に関する研究を深め、その価値をあきらかにする。 4 所蔵作品を利用・保存を目的として表装替えや修復をおこなう。 <p>なお、本事業は平成24年度からの新規事業であり、これは従来の「春草・郷土作家調査研究保管事業」における郷土作家関連を抽出した事業である。</p>											
事業内容				名称				活動指標				
27年度事業内容	1 文献資料の収集				1 収集文献数				1 46点			
	2 寄贈申し出作品等に対する、収集基準に基づく、時に即した対応を心がけた収集活動				2 収集作品数				2 13点			
	3 所蔵作品に対する、作品の傷みに応じた表装替、額の新調等の保存管理の実施				3 保存管理作品数				3 3点			
	4 伊那谷作家についての調査・研究の実施				4 調査項目				4 3件			
	5 所蔵作品についての研究				5 新たに調査した作品数				5 22点			
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		997	981	885	1,060	(そ) 諸収入						
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他			450	450								
一般財源		997	531	435	1,060							
人件費計(千円)②		0		0								
正規職員所要時間												
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		997	981	885	1,060							
事業内容・目標達成状況の振り返り	藤本四八写真フィルムをプリントして展示可能な状態にした。また平成28年度の特別展に備え、近・現代の日本画に関する文献資料の収集につとめた。											
改革改善の考え方	①問題点	井村コレクションや綿半野原コレクションなどの大型寄贈を受け入れた結果、収蔵スペースが著しく不足している。そのため新たな寄贈・寄託作品の受け入れが困難になってきているが、作品寄贈の申し出は増加傾向にある。										
	②改革提案	文化芸術の地であり寄贈・寄託の申し入れは多いが、作品の受け入れを厳選し、収蔵状況の整理と新たな収蔵スペースの確保を検討する。										